

This is an exhibition of works by the late Edo period, i.e. nineteenth century, ukiyo-e artist UTAGAWA Kuniyoshi. Works by Kuniyoshi have proved very popular not only in Japan but also in Europe and America in recent years. The true worth of Kuniyoshi lies in a world different from conventional features of "Japanese beauty" such as serenity, lingering effects, and refinement and the time has finally come for many people to appreciate such charms. Kuniyoshi was an artisan who handled ukiyo-e as a commodity. This exhibition begins by examining what sort of work he dealt with and surveying various aspects of his oeuvre. It then considers what it is that is captivating so many people's hearts nowadays by exploring the brilliant imagination and methods with which he created beautiful things, cute things, or spectacular scenes and his love for cats. Altogether 240 or so works will be shown in two sessions.

* There are no explanations for the individual works in English, but an English brochure providing commentaries on the fourteen themes and translations of the titles of the individual works will be available.



曲亭翁精著八犬士随一 大山通節 後期展示



曲亭翁精著八犬士随一 大川狂介 後期展示



東都名所 かすみが関 後期展示

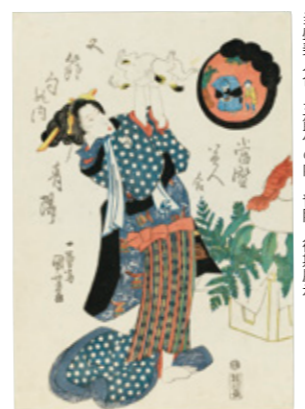


義勇八大伝 大江親兵衛 前期展示

Kuniyoshi



列猛伝 足柄太郎 前期展示



展覧会講座 各回90分程度 当館講座室 聴講無料

「国芳にとつての西洋画 — 現代人に教えてくれること」
音ゆみ子 (当館学芸員) 4月29日 (土) 午後2時より
「ねごと特撰 — 国芳と私たちをつなぐもの」
金子信久 (当館学芸員) 5月6日 (土) 午後2時より

20分スライドレクチャー
毎週日曜日 午後2時と3時の2回 当館講座室 無料

子供向けイベント「くによし探検隊!」会期中随時
展覧会を見ながら「探検隊ワークシート」のクイズに挑戦。観覧料が必要ですが、府中市内の小中学生は、「府中っ子学びのバスポート」で入場できます。年齢制限はありませんので、大人の方の参加もお待ちしております。

〈同時開催〉
【常設展】日本の油彩画の流れ 3月11日 (土) — 5月7日 (日)
【牛島憲之記念館】牛島憲之名作選 3月11日 (土) — 5月7日 (日)

〈交通案内〉
□京王線東府中駅北口から／徒歩17分／ちゅうバス府中駅行き
「府中市美術館」①下車すぐ (8:05から毎時30分間隔で運行、100円)
□京王線府中駅からバス／ちゅうバス多磨町行き「府中市美術館」①下車すぐ (8:00から毎時30分間隔で運行、100円)
・武蔵小金井駅行き (一本木経由) 「天神町二丁目」②下車すぐ
・武蔵小金井駅行き (学園通り経由) 「天神町幼稚園」③下車徒歩8分
□JR 中央線武蔵小金井駅南口からバス
・府中駅行き (一本木経由) 「一本木」④下車すぐ
・府中駅行き (学園通り経由) 「天神町幼稚園」⑤下車徒歩8分
□JR 中央線国分寺駅からバス
・府中駅行き (東八道路経由) 「天神町幼稚園」⑤下車徒歩8分
車の場合は、美術館近くの府中市臨時駐車場 (無料、60台収容) をご利用ください。

From Higashi-Fuchu Station on the Keio Line; 17 minute-walk from the Station.
Take the following bus from the Station "Chu-bus" for Fuchu Station, closest stop ① "Fuchu-shi-Bijutsukan".
Take either of the following buses from Fuchu Station on the Keio Line:
"Chu-bus" for Tamachi Station, closest stop ① "Fuchu-shi-Bijutsukan".
"Keio bus" for Musashi-Koganei Station (via Ippongi), closest stop ② "Tenjincho ni-chome".
"Keio bus" for Musashi-Koganei Station (via Gakuen-Dori), 8 minute-walk from ③ "Tenjincho Yochien".
Take either of the following buses from Musashi-Koganei Station on the JR Chuo Line:
"Keio bus" for Fuchu Station (via Ippongi), closest stop ④ "Ippongi".
"Keio bus" for Fuchu Station (via Gakuen-Dori), 8 minute-walk from ⑤ "Tenjincho Yochien".
From Kokubunji Station on JR Chuo Line:
"Keio bus" for Fuchu Station (via Tohachi-doro), 8 minute-walk from ⑤ "Tenjincho Yochien".
By Car, parking is available at a temporary parking, which is free of charge and has space for 60 cars

表紙/上: 讃岐院眷属をして為朝をすくふ図 前期展示
中: 猫のすゞみ (部分) 渡邊木版美術館蔵 前期展示 下: 相馬の古内裏 後期展示



府中市美術館
Fuchu Art Museum
東京都府中市浅間町1-3
03(5777)8600



UTAGAWA Kuniyoshi

歌川 21世紀の 国芳

His Pictorial Eloquence in the 21st Century

春の江戸絵画まつり
2017年 3月11日 [土] — 5月7日 [日]

全作品の展示替えを行います。
前期 3月11日 [土] — 4月9日 [日] 後期 4月11日 [火] — 5月7日 [日]
休館日: 月曜日 (3月20日、5月1日をのぞく)、3月21日 [火]
開館時間: 午前10時から午後5時 (入場は4時30分まで)
観覧料: 一般700円 (560円)、高校生・大学生350円 (280円)、
小学生・中学生150円 (120円)

* ()内は20名以上の団体料金。*未就学児および障害者手帳等をお持ちの方は無料。
*府中市内の小中学生は「府中っ子学びのバスポート」で無料。
主催: 府中市美術館 *会場への巡回はありません。

絵画力

2度目は半額!
観覧券をお求めいただく、2度目は半額になる割引券が付いています。
*本展1回限り有効、他の割引との併用はできません。

Closed / Mon, (except March 20, May 1), March 21
Hours / 10:00 AM - 5:00 PM (Latest admission 4:30 PM)
Admission / Adults ¥700 (560), Senior high school and University students
¥350 (280), Elementary and Junior high school students ¥150 (120)
* The fee within parentheses is a group rate applicable to 20 or more persons.

Discount on Your Second Visit!
Your purchase of an admission ticket comes with a half-price coupon for your second visit.
All works on display will be changed and shown in two sessions.

府中市美術館 Fuchu Art Museum





猫のすゞみ 渡邊木版美術画舗蔵 前期展示



似たか金魚 後期展示



逢性鏡 吉三郎 前期展示

2017年の「春の江戸絵画まつり」では、江戸後期の浮世絵師、歌川国芳を取り上げます。ここ数年の国芳の人気ぶりは、同時代の葛飾北斎や歌川広重をしのぐ勢いでは、と思えるほどです。「なぜ今、国芳なのか？」その答えを、国芳の作品の中に秘められた造形力や美意識に探る展覧会です。

明治時代以降、国芳は人気があったものの、美術史のうえでは、必ずしも高く評価されてきたわけではありません。作品には、余韻や情緒よりも、激しさにぎにぎしさ、笑いが満ちあふれています。それが、浮世絵の歴史上「末期」「退廃期」と呼ばれてきた、19世紀という時期のイメージに重なり合ったせいかもしれません。明治時代に外国人から評価された北斎や、西洋のロマン主義的風景画にも響き合う芸術と賛美された広重とは違って、近代の日本では、国芳の卓越した描写力を前向きに受け取ろうとする人は少なかったようにも思われます。

しかし今、浮世絵ファンはもとより、日頃は日本美術にあまり関心のない人に至るまで、本当に多くの人たちが、国芳の作品に熱い眼差しを向けています。そしてそこには、現代のイラストレーションやマンガを楽しむのに似た感覚も感じられます。「古いもの」の趣を味わおうという、いかにも身構えた鑑賞ではなく、日常の娯楽の一部としての「国芳画の楽しみ」が生まれているように見えるのです。

このたびの展覧会は、二部構成になっています。第1章の「19世紀の国芳」では、国芳の作品の成り立ちや当時のありようを紹介したいと思います。国芳が手がけたさまざまな仕事や、歌舞伎を題材にした一枚の絵が、どんなに夢いっぴいのものであったかなど、いくつかのポイントを取り上げます。

そして第2章は、「21世紀の国芳」。国芳の作品がどうして今輝いているのか、どんなところが現代人に訴えているのかを、造形の手法や題材、作者の心といった点から探ります。

前期・後期合わせて、およそ240点の国芳の作品をご覧くださいますが、代表作の多くを、摺りの状態、保存状態ともに非常に良質の作品によって味わっていただける機会となります。また、国芳の作品のほかに、円山応挙や画堂堂田善、安田雷洲らの作品も展示いたします。創作の源泉や時代性という点からも、国芳の魅力をより身近に、深く感じていただけるでしょう。時を超えて現代の人々を魅了する国芳のすばらしい絵の世界を、ぜひお楽しみいただきたいと思います。

UTAGAWA



八大伝之内舟流聞 後期展示



当盛夏の富士びたい 後期展示



きん魚づくし ほんぼん 前期展示



ほふづきづくし 夕立 前期展示



人をばかにした人だ 前期展示

His Pictorial Eloquence in the 21st Century Kuniyoshi



鬼若丸と大鯉 前期展示



西塔鬼若丸 後期展示